

授業科目(ナンバリング)	健康科学実習(IA203)			担当教員	宮原 恵子		
展開方法	実習	単位数	1 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
公衆衛生学ⅠおよびⅡで学修した水道水質基準や環境基準について、測定・評価することにより、実践的な理解を図る。また、健康管理のすすめ方を理解するために、健康教育の計画、実行、評価を行う。将来、直面する事態に対して管理栄養士として適切な判断およびマネジメント能力を身に付ける。							①④⑥⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	主な健康指標や環境基準について、その意味や必要性について説明することができる。 健康管理における健康教育を実施することで、健康管理のすすめ方を理解できる。				・定期試験 ・プレゼンテーション	40% 10%	
情報収集、分析力	自分の身体状況ならびに周辺環境の測定結果について、基準値やガイドラインを基に評価することができる。				・レポート	20%	
コミュニケーション力	グループワークを行い、テーマに沿ったプレゼンテーションを行うことができる。				・プレゼンテーション	10%	
協働・課題解決力	生活習慣の状況より問題点を挙げ、改善策を導き出すことができる。				・定期試験 ・プレゼンテーション	10% 10%	
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験 (50%)：実習で測定や算出した項目、健康教育の計画について理解しているか評価する。</li> <li>・レポート (20%)：実験や測定した内容について、考察は結果について関連図書等を参考に検討できているか、課題について正確に調べられているか、評価する。評価にあたっては、全レポートの提出を必須とする。レポートはフィードバックする。</li> <li>・プレゼンテーション (30%)：具体的かつ現実的な健康教育を提案でき、その結果についてまとめることができたかを評価する (2回の健康教育とその準備、最終報告)。</li> </ul>							
授業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康管理と健康教育では、第2回で実施する生活習慣に関するアンケート結果よりグループワークにて健康教育の計画を行う。健康教育は2回実施する(第4・8回)。第13回で再度アンケートを実施し、その結果からグループワークにて健康教育を考察し、第15回で最終報告としてプレゼンテーションを行う。</li> <li>・環境項目や生体情報の測定結果を各種法令やガイドライン等に基づき評価し、レポートにまとめる。</li> <li>・測定結果の共有はポートフォリオを用いて行う。</li> </ul> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分である。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：「健康・栄養科学シリーズ 社会・環境と健康」田中平三編 南江堂、実習書(学科作成)</p> <p>参考書：「管理栄養士 栄養士必携」公益社団法人 日本栄養士会編 第一出版、「国民衛生の動向」一般社団法人 厚生労働統計協会編・発行、「公衆衛生学実験・実習」角野猛・須崎尚編 建帛社</p> <p>指定図書：「健康・栄養科学シリーズ 社会・環境と健康」田中平三編 南江堂</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習内容に関連する教科書の内容について目を通し、実習内容によっては事前準備を行い、実習に臨むこと。</li> <li>・実習終了後は関連する法令やガイドライン、統計資料を調べ、結果について考察し、レポートをまとめること。</li> <li>・班で行う作業が多いが、自主性をもち、積極的に実習に取り組むこと。</li> <li>・私語や携帯電話の使用は厳禁。</li> <li>・無断の途中退室は認めない。</li> </ul>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	疫学 保健衛生統計	保健衛生統計のデータを用いて、健康指標の算出や疫学の方法の一つである記述疫学を実践する。	予習:P79～96 復習:健康指標の算出
2	健康管理と健康教育①	健康教育の概要 健康教育のテーマを決めるためのデータ収集(ロコモ度チェック、アンケートなど)	予習:P12～18 復習:健康教育
3	健康管理と健康教育②	測定やアンケートの結果から、健康教育のテーマを決定する。そのテーマに関する教育内容や方法を検討する。	予習:健康教育の方法 復習:健康教育の内容
4	健康管理と健康教育③	健康教育(1)を仕上げる。 グループにて健康教育(1)を実施する。	予習:健康教育 復習:健康教育の改善
5	屋内・屋外環境試験①	騒音(室内・室外)、空気環境の測定	予習:学校環境衛生基準 復習:レポート作成
6	屋内・屋外環境試験②	気温、気湿、カタ冷却力、照度の測定	予習:学校環境衛生基準 復習:レポート作成
7	水質試験①	水道水や公共用水の水質調査	予習:P32～33、40～44 復習:レポート作成
8	健康管理と健康教育④	健康教育(2)を仕上げる。最後に実施するアンケートの作成やこれまでの経過のまとめを行う。 グループにて健康教育(2)を実施する。	予習:健康教育 復習:健康教育の改善
9	生体情報①	身体測定	予習:定期健康診断の項目とその測定方法を調べる。 復習:レポート作成
10	生体情報②	体力測定	予習:体力テストの項目とその測定方法を調べる。 復習:レポート作成
11	生体情報③	疲労の測定と予防	予習:疲労測定の項目とその測定方法を調べる。 復習:レポート作成
12	水質試験②	環境水の水質調査、硬度の測定	予習:P40～44 復習:レポート作成
13	健康管理と健康教育⑤	健康教育後のデータ収集(ロコモ度チェック、アンケートなど)	予習:配布資料の確認 復習:アンケート確認
14	健康管理と健康教育⑥	データの見方(統計手法)より、収集したデータを確認し、グループのテーマに沿って最終報告の準備を行う。	予習:統計手法 復習:最終報告の確認
15	健康管理と健康教育⑦	本実習で実施した健康教育について、最終報告を行う。	予習:最終報告の確認 復習:プレゼンテーションの改善
16	定期試験		